

よこすか ECO通信



No.50
(令和5年9月)

《発行》
横須賀市、
環境教育・環境学習推進懇話会

10月1日から一部のごみの分別が変わります

横須賀市では、令和5年10月1日からごみの分別が一部変わります。変更点は大きくわけて3つ、「**プラスチック製品の出し方**」、「**粗大ごみ（電化製品）**」、「**集団資源回収（古着・古布類）**」です。今回の変更は、令和4年4月施行の新しい法律（プラスチック資源循環促進法）へ対応し、できるだけプラスチックごみをリサイクルするためと、ごみの分別をわかりやすくするためのものです。市民のみなさまにはお手数をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

①プラスチック製品の出し方

【変更前】

令和5年9月時点のプラスチックの分別は、「容器包装プラスチック」と「燃せるごみ」に分かれています。「容器包装プラスチック」とは商品の容器や包装に使われ、外した後に不要になるもので、収集後はリサイクルしています。それ以外のプラスチックは「燃せるごみ」として焼却しています。



【変更後】

10月からは、「容器包装プラスチック」が「**プラスチック資源**」という名称に変わります。そして、現在「燃せるごみ」に出しているプラスチックのうち、すべてプラスチックでできているものを「プラスチック資源」に出すよう変更します。（例：プラスチック製のバケツやタッパー、洗面器など）
今後は、容器包装プラスチックと、すべてプラスチックでできている製品を一括で収集します。
なお、収集日は、これまでの「容器包装プラスチック」と同じ（変更なし）です。

容器包装プラスチック

トレイ類

ボトル類

カップ・パック類

袋・ラップ



このマークが目印

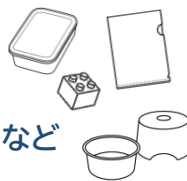
NEW

すべてプラスチックで
できている製品

台所用品

文具・おもちゃ

風呂・洗面用具 など



プラスチック資源

プラスチックだけではなく別の素材が含まれているものは、リサイクルに支障が出るので、これまでどおり「燃せるごみ」でお出しください。（例：ボールペン、角ハンガー、うちわなど）

2面に続きます



②粗大ごみ

【変更前】

現在は、「一辺が50cm以上、2m以下の家具類など」と「2m以下の電化製品」を「粗大ごみ」として有料で収集しています。電化製品は、50cm未満の小さいサイズでもすべて「粗大ごみ」です。



【変更後】

10月からは、家具類と同じく、電化製品についても一番長い辺が「50cm以上、2m以下」のものが「粗大ごみ」となり、50cm未満の電化製品は「不燃ごみ」として無料で出せるようになります。
(例: アイロン、炊飯器、トースターなど)



一番長い所の辺が
50cm未満 = 不燃ごみ

ただし、充電式電池を使用している製品で充電電池を取り外せないものは、火災の恐れがあるため、50cm未満でも「不燃ごみ」には出せません。次の2つの方法のいずれかでお出しください。

① 新しい区分「破碎できないごみ」(有料)

出し方は「粗大ごみ」と同じです。
戸別収集またはエコミルに直接搬入してください。



② 使用済み小型家電回収ボックス(無料)

市役所や行政センターなどに置いてある黄色のボックスの投入口に入るもの(横30cm×縦15cm)であれば無料で回収します。



パッカー車の火災(横須賀市)

家電リサイクル法対象品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)とパソコンはこれまでの処分方法から変わりません。【不燃ごみ・粗大ごみでは収集できません】

③集団資源回収(古着・古布類)

【変更前】

現在は、ダウンジャケット、革の服、中綿の服は「燃せるごみ」です。



【変更後】

10月からは、衣類はすべて「集団資源回収(古着・古布類)」となります。
ただし、リサイクルやリユースができなくなってしまうので、濡れている服や汚れている服はこれまでどおり、「燃せるごみ」でお出しください。



分別方法の検索ができる！便利なアプリやサイトをご活用ください

1. 市公式LINE



2. ごみ分別アプリ「スカ☆ごみ」



iPhone・iOS



Android

3. 横須賀市ホームページ(ごみ分別検索)

市ホームページの
総合案内から、ごみ
分別検索のページに
アクセスできます。



季節の自然図鑑

第50回 関東大震災から100年

令和5年(2023年)は、関東大震災を引き起こした大正12年(1923年)9月1日の大正関東地震の発生から100年となります。

この地震は、相模湾のフィリピン海プレートと北アメリカプレートの境界、相模トラフで発生した地震です。横須賀市を含む南関東の広い範囲が震源域となり、マグニチュード7.9の大地震を引き起こしました。この地震によって、三浦半島や大磯丘陵、房総半島南部では土地が隆起しました。荒崎海岸での隆起量は約1.4mに達したとされています。一方、丹沢山地などでは最大で1.2m土地が沈降しました。相模湾沿岸には大きな津波が襲来し、長井では地震発生から14分後に3.8mの津波が押し寄せました。一方、東京湾に面した横須賀では79分後に1.0mの津波が観測されました。

横須賀市では、現在の震度階級で震度6弱から震度7の強い揺れに襲われました。その結果、家屋の倒壊、火災、がけ崩れなどが発生し、多くの尊い命が失われました。1932年に発行された『横須賀市震災誌附復興誌』の付図、『横須賀市震災要図』には、横須賀駅から横須賀中央駅周辺の被害の様子が詳しく記録されています。大滝町や深田台周辺では大規模な火災が発生しました。一方、どぶ板通りや中里通りでは地震動による家屋の倒壊が多かったようです。横須賀駅～汐入駅付近では高さ30m、厚さ18m、長さ440mにわたって崩壊し、巻き込まれた通行人50人が犠牲となりました。また、浦賀地域でも浦賀ドック周辺や愛宕山麓でがけ崩れが発生しました。

地震がいつ起こるかを正確に予測することはできません。地震について正しい知識を持ち、地震に備えて十分な備えをしておくことが大切です。



横須賀市荒崎の波食棚。波食棚は海岸沿いの平坦な岩場で、地震によって海底から隆起した地形である。



汐入駅～横須賀駅付近で発生したがけ崩れ。「横須賀大地震 道路ヲ埋メタル港町」絵はがき。横須賀市自然・人文博物館蔵。



上町の中里通りの倒壊家屋。「横須賀大地震 中里通り」絵はがき。横須賀市自然・人文博物館蔵。

＊ ＊ 秋の環境学習イベントのお知らせ ＊ ＊

横須賀市自然・人文博物館 展示・イベント

【開催中！】特別展示「みどりの不思議 ー多様な植物の世界ー」

開催期間 11月26日(日)まで
9:00～17:00

場所 本館特別展示室

身近な植物から世界の植物まで紹介 植物の不思議を探ってみよう

横須賀を含む三浦半島は、首都圏にありながら海と「みどり」に囲まれており、自然と人のくらしとの距離が非常に近い点が魅力といえます。「みどり」ある環境は、様々な生物の生息・繁殖の場となるほか、人々の憩いや癒しの場となっています。

本展示では、この「みどり」を構成する「植物」について、身近なものから世界のものまで、植物そのものの魅力と機能を伝えます。

【見どころ】

- 身近な野生植物やくらしに関わる栽培植物まで広く紹介！
- 世界最大・最小・最長などの植物を知ろう！
- ハチの気持ちになってみよう！大きな花模型の中に入って花粉媒介者体験！



特別展示関連講演会「野生ランと食虫植物」

【日時】 9月30日(土) 14:00～16:00
【場所】 本館
【定員】 先着30人
【講師】 ふじのくに地球環境史ミュージアム
早川 宗志 氏

◆スタディートーク自然の探求3 「サンゴ礁の生き物」

博物館学芸員が調査・研究の過程で収集した画像・映像とともに、サンゴ礁の美しい生き物や変わった生態について紹介します。

【日時】 10月14日(土) 14:00～16:00
【場所】 本館
【定員】 先着60人（申込不要）

◆スタディートーク自然の探求4 「カブトムシ、海を渡る」

博物館の調査研究で明らかになったカブトムシの移動能力をはじめ、昆虫担当学芸員による研究に関するお話をします。

【日時】 11月11日(土) 14:00～16:00
【場所】 本館
【定員】 先着60人（申込不要）

◆ナイトミュージアム

ふだんは見られない夜の博物館内を、夜間ならではの演出とともに学芸員がご案内します。

【日時】 10月28日(土)
18:30～20:00
【場所】 本館
【定員】 抽選100人（事前申込制）
【応募締切】 10月13日(金) 必着



◎ 申込方法

往復はがきに以下の事項を記入して
締切必着で申込先へ。
・ 往信面に①行事名と、参加者全員（家族のみ）の
②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号
・ 宛名面に代表者の①住所 ②氏名
★インターネットからも申込できます。
<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>

【申込先・問い合わせ先】

横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台95番地 ※休館日：月曜（祝日・振替休日の場合は翌日）
電話：046-824-3688 E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp



《発行》横須賀市／環境教育・環境学習推進懇話会 《協力》横須賀市自然・人文博物館

《発行元》〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境部環境政策課

TEL: 046-822-8419 FAX: 046-823-0865

E-mail: lege-le@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆カラー版は横須賀市ホームページから「ECO通信」で検索！

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4105/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

☆「環境教育・環境学習推進懇話会」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

